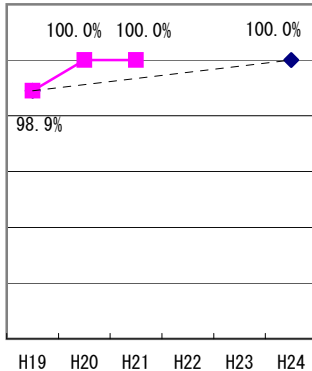


(^^) 順調		75	ブロードバンド世帯カバー率																
指標の推移		推移の分析・考えられる要因		目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>世帯カバー率</th></tr></thead><tbody><tr><td>H19</td><td>98.9%</td></tr><tr><td>H20</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>H21</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>H22</td><td>-</td></tr><tr><td>H23</td><td>-</td></tr><tr><td>H24</td><td>100.0%</td></tr></tbody></table>		年度	世帯カバー率	H19	98.9%	H20	100.0%	H21	100.0%	H22	-	H23	-	H24	100.0%	世帯数が少なく、通信事業者が整備できない地区については、県・市・通信事業者が応分負担しながら整備促進を図っており、平成20年度末で、目標のブロードバンド世帯カバー率100%が達成となった。		全世帯において、快適なインターネット環境が整備されたため、目標達成後はこれを維持しつつ、より快適な超高速ブロードバンド整備に注視していく。	・より快適な超高速ブロードバンドとなるよう通信事業者の整備を促進。
年度	世帯カバー率																		
H19	98.9%																		
H20	100.0%																		
H21	100.0%																		
H22	-																		
H23	-																		
H24	100.0%																		

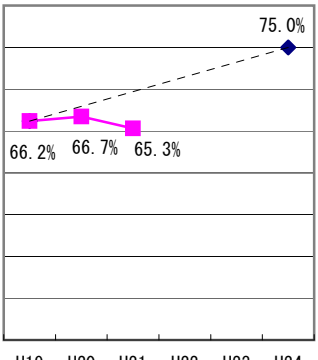
能代市総合計画 まちづくり点検表

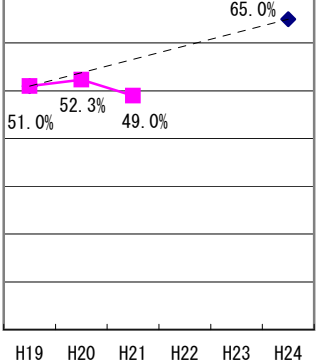
平成21年10月作成

1 政策のめざす姿や状態

基本目標	3	安全と安心のまち
政 策	(5)	安心でき健康を保てる医療体制
めざす姿や状態	①	身近にかかりつけ医がいて、気軽に相談でき、必要なときに必要なサービスや高度な医療を受けられること。
－評価の目安－ (^_^) 順調 (-_-) 横ばい (>_<) 不調	②	身近にできる救命技能や献血などが、地域医療を支えること。

2 指標の推移と評価、取組の改善策

(-_-) 横ばい	76	身近なかかりつけ医を持っている市民の割合		
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
 66.2% 66.7% 65.3% 75.0% H19 H20 H21 H22 H23 H24		能代市山本郡医師会の協力のもと、小児の初期救急対応についての冊子配布など、受診に関する啓発活動の効果が、徐々に現れてきているとは思われるが、一方で、一次医療機関・二次医療機関の受診に関する棲み分けが明確になっていない医療体制の問題もあるのではないかと考えられる。	今後も健康教室等の機会をとらえて、啓発活動を継続していく。	・啓発活動を継続。

(-_-) 横ばい	77	身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合		
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
 51.0% 52.3% 49.0% 65.0% H19 H20 H21 H22 H23 H24		薬局で発行しているお薬手帳の普及や、地域等での啓発活動の効果が、徐々に現れてきているとは思われるが、一方で、受診する医療機関が変わることによる利便性から定まっていない人もいないのではないかと考えられる。	今後も健康教室等の機会をとらえて、啓発活動を継続していく。	・啓発活動を継続。

能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

1 政策のめざす姿や状態

基本目標	3	安全と安心のまち
政 策	(6)	不安のない生活を支える社会保障制度
めざす姿や状態	①	社会保障制度が整っていて、安心して日常生活を送れること。
—評価の目安— (^~^)^ 順調 (-_-) 横ばい (>_<) 不調	②	介護などが必要になったときに、必要なサービスや援助を受けられること。

2 指標の推移と評価、取組の改善策

(^~^)^ 順調	78	要介護2～5に対する介護三施設等利用者の割合												
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table><caption>要介護2～5に対する介護三施設等利用者の割合</caption><thead><tr><th>年度</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>H19</td><td>58.3%</td></tr><tr><td>H20</td><td>56.0%</td></tr><tr><td>H21</td><td>55.1%</td></tr><tr><td>H24</td><td>60.0%</td></tr></tbody></table>		年度	割合	H19	58.3%	H20	56.0%	H21	55.1%	H24	60.0%	要介護2～5の認定者数が増加している一方で、介護三施設等利用者の割合が下がったが、その要因としては、介護療養病床が医療療養病床に転換されたことが大きく影響していると考えられる。	特に後期高齢者人口の急増で要介護者が増えており、居住系サービスのニーズは高い。 国の示す標準は、平成26年度で37%以下となっていて乖離があるが、地域事情を考慮して目標値を設定したため、高齢者人口が増加する中では、一定の施設整備は必要と考えられる。 また、23年度末に介護療養型医療施設が廃止され、転換先によっては影響を受けるため、制度の見直しや施設の対応などの動向を見守っていく。	(順調に推移しているので取組を維持。)
年度	割合													
H19	58.3%													
H20	56.0%													
H21	55.1%													
H24	60.0%													

(^~^)^ 順調	79	介護三施設と地域密着型特養の利用者に対する要介護4・5の割合												
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table><caption>介護三施設と地域密着型特養の利用者に対する要介護4・5の割合</caption><tr><th>年度</th><th>割合</th></tr><tr><td>H19</td><td>63.6%</td></tr><tr><td>H20</td><td>66.7%</td></tr><tr><td>H21</td><td>67.4%</td></tr><tr><td>H24</td><td>65.0%</td></tr></table>		年度	割合	H19	63.6%	H20	66.7%	H21	67.4%	H24	65.0%	介護老人福祉施設は74%、介護老人保健施設は50%、介護療養型医療施設は94%で、平均67.4%となっており、目標値をクリアしている。 なお、国の示す標準は、平成26年度で70%以上となっている。	順調に推移しているが、介護療養型医療施設が23年度末で廃止されることになっており、仮に医療療養病床に転換した場合は数値が下がると予想されるため、制度の見直しや施設の対応などの動向を見守っていく。	(順調に推移しているので取組を維持。)
年度	割合													
H19	63.6%													
H20	66.7%													
H21	67.4%													
H24	65.0%													

能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

1 政策のめざす姿や状態

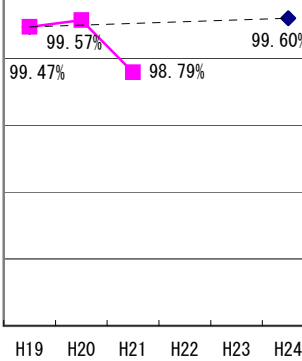
基本目標	3	安全と安心のまち
政 策	(7)	効率的で住民サービスに資する行財政基盤
めざす姿や状態	①	職員の能力を生かし、効率的な事務処理や適正な個人情報管理などにより、行政の信頼度が高いこと。
一評価の目安ー	②	受益と負担の関係が公平であり、市税をはじめ収入を確保できるなど、将来にわたって行財政運営を持続できること。
(^_^) 順調	③	国・県や大学、民間企業などとの連携や、他の地域との広域的な協力により、地域の課題が解決できること。
(-_-) 横ばい		
(>_) 不調	④	財政状況や契約状況など、行政情報の透明性が高いこと。

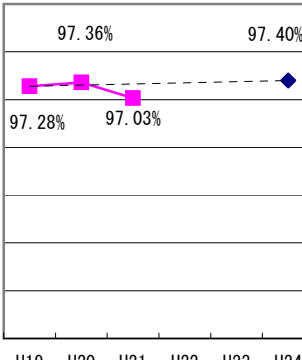
2 指標の推移と評価、取組の改善策

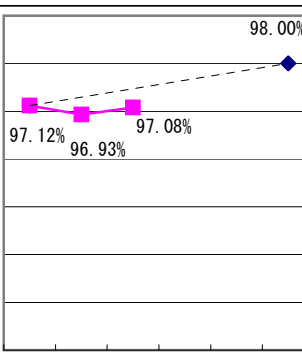
(-_-) 横ばい	80	市職員は日頃仕事をよくやっていると思う市民の割合												
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>H19</td><td>31.9%</td></tr><tr><td>H20</td><td>37.1%</td></tr><tr><td>H21</td><td>34.2%</td></tr><tr><td>H24</td><td>50.0%</td></tr></tbody></table>		年度	割合	H19	31.9%	H20	37.1%	H21	34.2%	H24	50.0%	基準値から増加しているものの、平成20年度からは減少した。 市民意識調査の自由記載では、職員に対する肯定的な意見と厳しい意見の両方があり、また、求められる市職員像の上位は、「市民の立場に立って物事を考える職員」「笑顔で親切丁寧な対応のできる職員」「わかりやすく説明のできる職員」となっており、こうした観点からも資質向上に努めていく必要がある。	市職員が市民から信頼されるためには、まず、窓口・電話などの対応を丁寧に行うことや、事務を正確・スピーディに行っていくことなどが必要である。 そのためにも、市民の立場に立って職務を行うことを、常に意識できる職員の育成に努めていく。 また、窓口業務等においては、申請等手続きの簡素化、専門的知識の習熟にも努めていく。	・職員育成のためのより効果的な取組の検討。 ・自主的な勉強会や研修会の開催。 ・各種手続きの簡素化・効率化のための改善策の検討。
年度	割合													
H19	31.9%													
H20	37.1%													
H21	34.2%													
H24	50.0%													

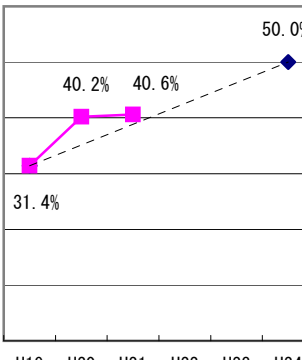
(^-^) 順調		81	職員適正化計画に基づく職員数												
指標の推移		推移の分析・考えられる要因		目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>職員数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H19</td><td>634人</td></tr><tr><td>H20</td><td>607人</td></tr><tr><td>H21</td><td>573人</td></tr><tr><td>H24</td><td>494人</td></tr></tbody></table>		年度	職員数	H19	634人	H20	607人	H21	573人	H24	494人	定員適正化計画では、平成28年度に市民1,000人に対して職員数を7人の割合とすることを目指しており、新規採用職員数を退職者の1/5としているため、職員総数は減少している。 定員適正化計画は、定年退職者をベースに計画値を定めているため、定年前退職者分が計画を上回り減少している状況にある。		職員数の減少に伴い、業務の遅延やサービスの低下を招かないよう努めるとともに、職員の時間外勤務の状況にも留意していく必要がある。 今後も事務の効率化、事業の見直しに積極的に取り組むとともに、部門間の連携を強化するなど、より効果的に業務を行うための組織・機構の見直しを行っていく。	・行財政改革大綱の実施項目にある事務事業の見直しを着実に推進。 ・組織・機構の見直しについては、類似団体を参考にすることなどの検討を継続。
年度	職員数														
H19	634人														
H20	607人														
H21	573人														
H24	494人														

(＞＜) 不調	82	市税の収納率（現年度分）個人市民税																
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>収納率</th></tr></thead><tbody><tr><td>H19</td><td>97.97%</td></tr><tr><td>H20</td><td>97.20%</td></tr><tr><td>H21</td><td>97.47%</td></tr><tr><td>H22</td><td>98.00%</td></tr><tr><td>H23</td><td></td></tr><tr><td>H24</td><td></td></tr></tbody></table>		年度	収納率	H19	97.97%	H20	97.20%	H21	97.47%	H22	98.00%	H23		H24		基準値からは減少しているものの、平成20年度より平成21年度の収納率が向上したのは、特別徴収事業所の拡大などによるものと考えられる。	今後も引き続き、納期内完納や納税意識の向上に努めていく必要がある。	・特別徴収事業所の拡大。 ・公平・公正な課税と収納対策の実施。 ・インターネット公売の実施。 ・年金特別徴収の実施。
年度	収納率																	
H19	97.97%																	
H20	97.20%																	
H21	97.47%																	
H22	98.00%																	
H23																		
H24																		

(>_<) 不調	83	市税の収納率（現年度分）法人市民税		
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策	
 99.47% 99.57% 98.79% 99.60% H19 H20 H21 H22 H23 H24	経済不況の影響で、企業の業績が悪化し収益が減少したため、納付額が減少し、収納率も低下したものと考えられる。	今後も引き続き、適正申告や納期内完納、納税意識の向上に努めていく必要がある。	・申告書送付時に適正申告と納税意識の啓発。 ・税務署の法人税強化策との連携。	

(-_-) 横ばい	84	市税の収納率（現年度分）固定資産税		
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策	
 97.28% 97.36% 97.03% 97.40% H19 H20 H21 H22 H23 H24	経済不況の影響で、企業の業績が悪化し収益が減少したため、納付額が減少し、収納率も低下したものと考えられる。	今後も引き続き、納期内完納や納税意識の向上に努めていく必要がある。	・公平・公正な課税と収納対策の実施。 ・インターネット公売の実施。	

(-_-) 横ばい	85	市税の収納率（現年度分）軽自動車税		
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策	
 97.12% 96.93% 97.08% 98.00% H19 H20 H21 H22 H23 H24	基準値からは減少しているものの、平成20年度より平成21年度の収納率が向上したのは、登録台数の伸びと、軽自動車の買換え時等の納付意識の向上が要因として考えられる。	今後も引き続き、納期内完納や納税意識の向上に努めていく必要がある。	・公平・公正な課税と収納対策の実施。 ・適正な異動手続きのPR。	

(^-^~) 順調	86	市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合		
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策	
 31.4% 40.2% 40.6% 50.0% H19 H20 H21 H22 H23 H24	市の財政状況などの情報提供が行われていると思う市民の割合が増えている。 これは、市町合併等により市の財政への関心が高まったこと、インターネットの普及により市のホームページから情報を得ている市民が増えていること、平成21年度から「わかりやすい予算書、能代市のことしの仕事」を作成し、全戸配布したことなどが要因として考えられる。	情報提供の方法は、市の広報紙やホームページへの掲載が主であるため、内容の充実に努めるとともに、見やすくわかりやすいように工夫していく。	・予算や決算、各種財政指標について、よりわかりやすく公表。 ・最新の情報をいち早く公表。 ・ホームページ等のレイアウトの工夫。 ・「わかりやすい予算書、能代市のことしの仕事」をまちかどミーティングや出前講座などで活用し、積極的に周知。	